

2022 年 2 月 3 日

## 第 129 回触媒討論会開催形態の件

一般社団法人 触媒学会  
会 長 朝倉清高  
実行委員会委員長 江口浩一  
討論会委員会委員長 奥村 和

第 129 回触媒討論会の口頭発表は「ハイブリッド開催（京都大＋オンライン）」であることを、すでに皆様にお知らせしてきました。

コロナウイルス感染状況は予断を許さない状況ではありますが、現時点では「ハイブリッド」を想定した開催形態に変更はございませんので、あらためて皆様にお伝えします。

一方で今後、コロナウイルス感染状況が改善しなければ、京都大での口頭発表実施が難しくなります。その場合は「ハイブリッド」から「完全オンライン」へ開催形態を変更させていただくことになります。

「ハイブリッド」から「完全オンライン」に変更する際には【3/15】までに皆様にご連絡いたします。もし変更となる場合は、かなり遅い時期でのアナウンスになってしまい大変恐縮なのですが、これも現地とオンラインを併用する新しい触媒討論会の姿を模索するためと、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

上記をご理解いただいた上で、皆様には現地とオンラインのどちらから参加されるかをご判断いただきたく、お願い申し上げる次第でございます。

なお 3/15 時点でハイブリッド開催を変更なしに実施すると決定しましたら、それ以降に感染状況が変化してもハイブリッド開催を行います。（ただし、現地の京都大学から中止要請が出た場合は、その指示に従うことになります）

現地とオンラインを使って活発な討論を行えるように、新たな討論の場を整備したいと考えております。

ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。